

# 資料 3-1

【震災復興部】

区画整理事業について

# 新市街地の整備スケジュール

防災集団移転事業の移転先として多数の宅地を早期に供給するため、市があらたに市街地を開発する



**新蛇田地区**

面積 46.5ha  
 (当初計画面積:約88ha)  
 整備戸数  
 戸建:1,110戸  
 災害公営:350戸  
 (当初移転計画戸数:2,000戸)

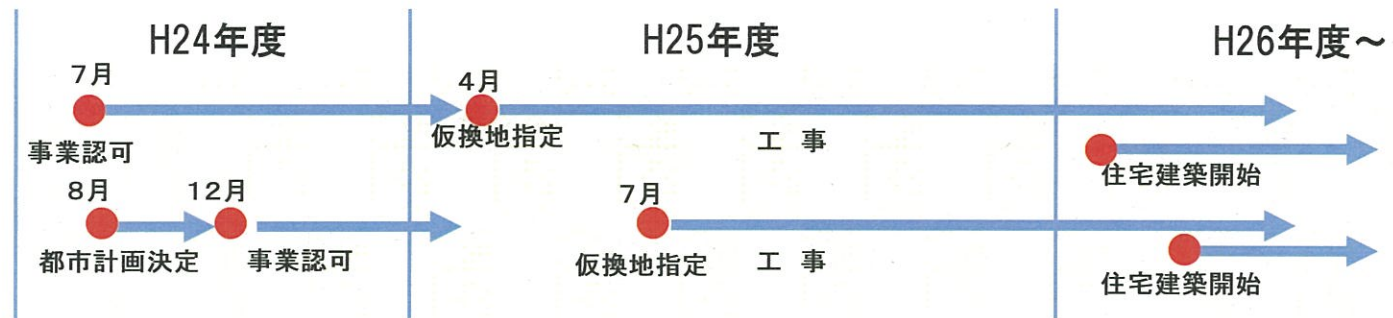
**新渡波地区**

面積 18.0ha  
 (当初計画面積:約38ha)  
 整備戸数  
 戸建:250戸  
 (当初移転計画戸数:500戸)

## 工程

新蛇田地区

新渡波地区



# 新市街地の区画整理とは

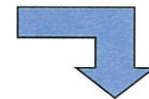
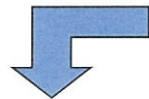
あらかじめ農地等を買収し区画整理事業を行うことで、市が速やかに宅地を供給することが出来る(先行買収)



農地主体の区画整理は、建物移転等が少ないため、短期間に工事を行うことが出来る



区画整理によるまちづくりとは



区画整理事業とは、良好なまちづくりのために必要な公共施設用地を減歩によって生み出す



公共施設用地とは、道路・公園・調整池用地を指す

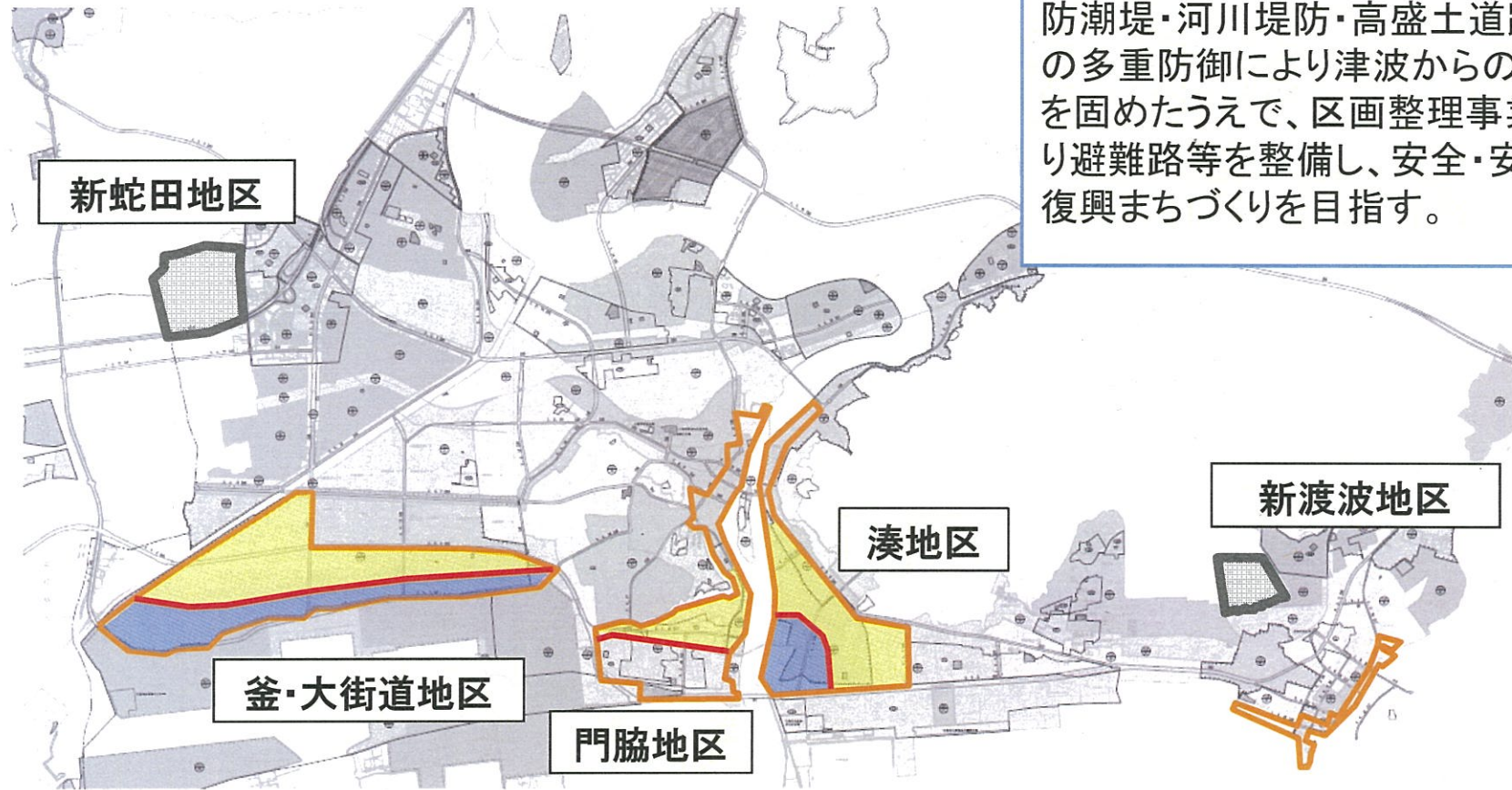
区画整理事業の事業費の一部として、保留地を減歩によって生み出す



保留地とは、売却する土地を指す  
売却による収入は事業費になる

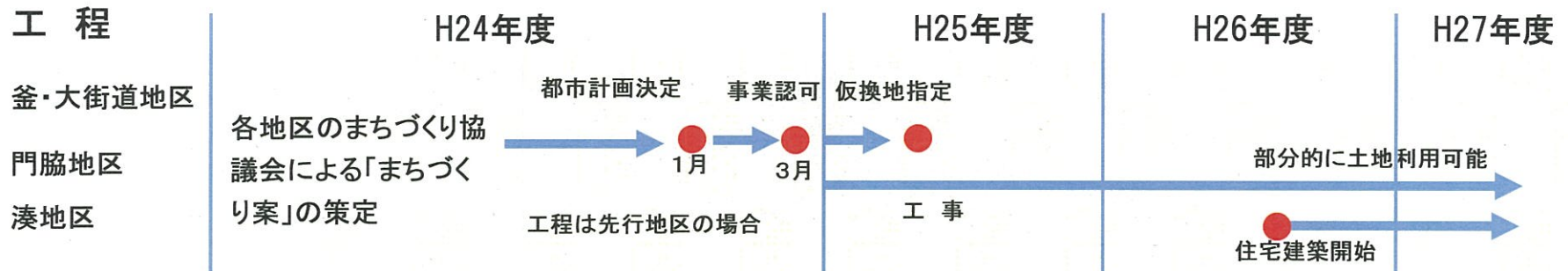


# 既成市街地のまちづくり(土地区画整理事業)

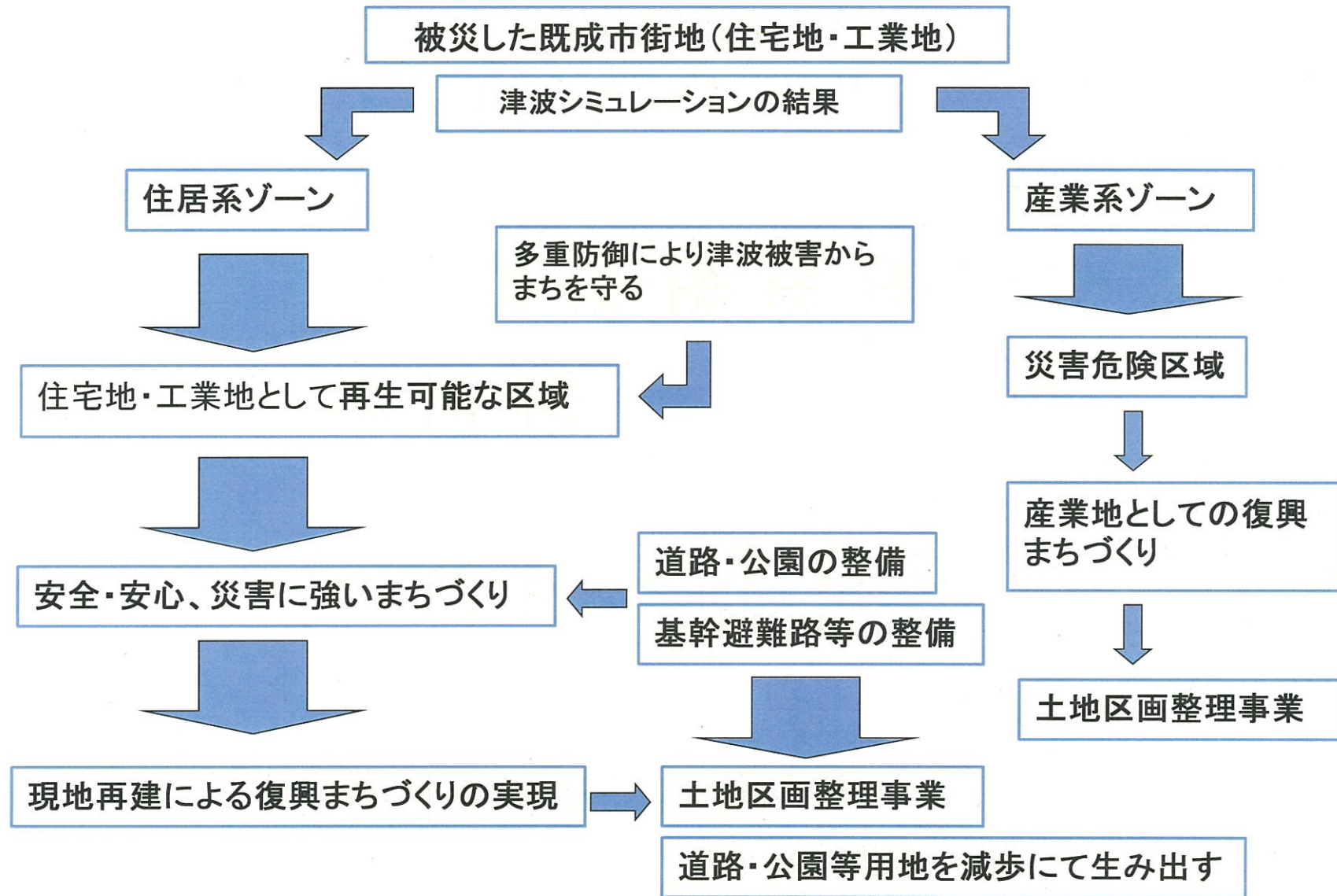


防潮堤・河川堤防・高盛土道路等の多重防御により津波からの守りを固めたうえで、区画整理事業により避難路等を整備し、安全・安心な復興まちづくりを目指す。

3



# 既成市街地の区画整理とは



※既成市街地である特性から、減歩のみで道路・公園等の用地を生み出せない場合は、事業の認可前に減価買収(民地の買取り)を行う